

会 議 結 果

会議名	平成28年度 第3回西尾市地域公共交通活性化協議会
日時	平成29年3月29日(水) 午後2時00分～午後3時20分
場所	西尾市役所 2階 22会議室
出席者	西尾市地域公共交通活性化協議会委員19名 事務局3名 (欠席:加藤博和氏、颯田洪氏、古田寛氏、神谷祥氏、小島正義氏、岡田文雄氏)
傍聴者	3名
議 事	<p>1 開会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・石原会長あいさつ。一月前の広報に市政世論調査の結果が掲載されていた。市民の約70%が西尾市が住みよいと回答しているが、28.3%の方がどちらかといえば住みにくいと回答しており、住みにくい一番の理由が「交通の便が悪い」となっている。その中でも公共交通の存続が非常に重要と考えられており、公共交通の充実のためには、ある程度の税金の投入はやむを得ないと考える市民の割合が多い。市民の意見を踏まえながら、本協議会を進めていきたい。 <p>2 議題</p> <p>(1) 一色地区新規バス路線運行計画(案)について(協議事項)</p> <p>○事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料1により説明。 <p>○委員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一色町にバスが走るということで有り難く思うが、旧3町の吉良町や幡豆町も併せて検討してほしい。また、旧市内を走る六万石くるりんバスについては、もっと小さな車両でいいのできめ細かく市内を走らせるようにして、高齢者や障害者が使いやすいようにしてほしい。 <p>○事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旧3町の公共交通対策や旧市内の見直しについて、事務局としても課題と認識しており、地域公共交通計画でも課題として挙げている。今後、旧市内の六万石くるりんバスについてはバス交通再編ということで全体を見直して公共交通空白地を減らしていきたい。また、一色線の評価方法について挙げたが、六万石くるりんバスも同様に評価を行い、例えば利用人数に応じてバスを小型化するなど検討していきたい。 <p>○委員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運行経費が1,700万円かかるというのは、車両などの経費は入っているのか。 <p>○事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入っている。運行経費から、運賃などの運行収入を差し引いた額を運行業者へ支払う。1,700万円かかるということについて、六万石くるりんバスに比べて車両は小さくなっているが、六万石くるりんバスについては3路線を一括で運行しており運転手のやりくりなども含め多少無駄が省けている部分がある。今回の一色線は1路線のみなので、この金額となる。 <p>○委員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一色線の大宝橋バス停は、名鉄東部交通バスと位置が違うがどうということか。また、同じ場所に複数のバス停がある場合は標柱を統合するのか。 <p>○事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> ・標柱の統合は考えていないので、複数の標柱が同場所に並ぶような形になる。 ・大宝橋のバス停については、もともと名鉄東部交通のバス停とふれんどバスのバス停が少し離れている。一色線のバス停はふれんどバスのバス停に並べ、乗換などの利便性の向上を図る。また、前回の協議で決定したが一色町公民館をバス3路線の集まるバスセンターとし、公共施

設もここに集約されることから、便利に使ってもらえるようになる。

○委員

- ・一色高校に通う学生がバスを利用しなければ存続は難しいのではないか。一色高校に通う学生のデータはとっているか。

○事務局

- ・一色高校に通う学生のデータはとっていない。しかし、高校生へのバス利用者アンケートはとっており、名鉄東部交通バス一色線を通うか、電車で吉良吉田駅まで来てふれんどバスに乗り換え通っている状況。または碧南からふれんどバスに乗っている学生もいる。

○委員

- ・車両が10人乗りというのは、10人乗客できるということか。また、車両の車検時や故障時の対応については、経費に含まれているのか。

○事務局

- ・人数については、乗客9人定員+運転手で計10名。車椅子客がいれば、乗れる人数は減る。代車対応についても見積りに含んでいる。

○委員

- ・乗りこぼしの対応はどのようか。

○事務局

- ・六万石くるりんバスは現在乗りこぼしはほとんどない状況。一色線についても多くは想定されないが、ないとは言いきれないので、続行の車両で検討したい。現段階ではどのようにするか決まっていないがバスだけでなく地域のタクシー会社も含め検討する。

○委員

- ・車両について、バリアフリー対応ということだが、どのような内容か。また、代車の際の車両外見はどのようなものを求めるのか。

○事務局

- ・詳細はすぐに答えられないが、バリアフリーの項目をクリアした車両を用意する。車椅子のまま乗っていただける車両。
- ・代車専用の塗装は求めている。幕やマグネットなどで、既存の車両を使った代車としたい。

○委員

- ・安城市のコミュニティバスの例で、当初ジャンボタクシーで運行したところ乗客が想定より多く、慌ててマイクロバスに切り替えた事例がある。そこで、例えば人数の把握をするために1ヶ月程度大きな車両で走るといったことは可能か。

○事務局

- ・その場合の手続きについては運輸局に確認したいが、実態に合わせて柔軟に改善したい。

○委員

- ・幹線との乗り継ぎができないとフィーダー系の補助が出ないので、よく検討してほしい。

○委員

- ・愛知県は特に高齢者の交通事故が多い。運転免許証自主返納を促進していくためにも、地域の人が使いやすいようにバス停を置き、時間も可能であれば伸ばしてもらおうと良い。また、試験的に乗ってもらうなど広報啓発に努めてしっかりと周知してほしい。

○事務局

- ・今回のルートは全く市の意見は入っておらず、地域の方が使いやすいようにと決めた。運行開始後も使いやすいように改善していった。

○会長

- ・観光面にも配慮し、バス停名を考えてみたらどうか。例えば、大提灯前や、一色さかな広場など。

○事務局

- ・今回、バス停名を決めるにあたって、事務局から暫定でバス停名を提示した。そのとき、17番のバス停名を事務局から地名の「間浜」と提示したところ、地域の方が観光に配慮して「諏訪神社南」と変更した経緯がある。今回の貴重なご意見についても、伝えさせていただき検討させていただきたい。外から来た人が分かるような表示をしていきたい。

◎議題（1）について全会一致で承認。

（2）平成29年度事業計画（案）について（協議事項）

○事務局

- ・資料2により説明。

◎議題（2）について全会一致で承認。

（3）平成29年度収支予算（案）について（協議事項）

○事務局

- ・資料3により説明。

◎議題（3）について全会一致で承認。

3意見交換

○東伸運輸(株)

- ・一色線についても前向きに検討したい。今後も安心安全に運行できるよう、ご意見いただけると有り難い。

○名鉄東部交通(株)

- ・路線バス、タクシー、いこまいかーを担当している。運行事業者として、公共交通に貢献していきたい。また、高齢者交通安全対策の一環として運転免許証自主返納者へのタクシー料金の割引をしているため広めていきたい。

○名鉄バス東部(株)

- ・ふれんどバスで、一色高校の通学利用者が多い。これからも支えていきたい。また、一色公民館のバスターミナルについて、西尾市と協力しながら進めていきたい。

○愛知県タクシー協会

- ・障害者へのタクシー割引や運転免許証自主返納者への割引を行っている。タクシーも重要な公共交通と捉え、進めてほしい。

○名鉄東部交通労働組合

- ・いこまいかー、タクシーともに安心安全な運行をしたい。ご意見があればどんどん教えてほしい。

○名古屋鉄道(株)東部支配人室

- ・5月28日に吉良吉田駅から上横須賀駅までハイキングを計画している。多くの方に電車に乗っていただけるようイベント等計画していきたい。

○愛知県西尾警察署交通課

- ・皆様の交通安全への協力が有り難い。この後春の全国交通安全運動が始まるのでご協力いただきたい。現在の交通事故情勢として、金土日曜日に交通事故が多発している。転勤、入学卒業等イベントが多い時期であるが、皆様交通事故に遭わないよう気を付けてほしい。

○愛知県振興部交通対策課

- ・日頃の公共交通への活動のお礼。

○中部運輸局愛知運輸支局

- ・公共交通は安心安全が第一。運転手の休憩時間をしっかりとってほしい。

○西尾市観光協会

- ・昨年度より、西尾の抹茶一服キャンペーンを実施している。今年は1期は抹茶をテーマ、2期

は鰻をテーマに展開していくため、ご協力をお願いしたい。

○西尾市障害者福祉団体連合会

- ・生活が非常に不便なところに住んでおり、買い物難民となっている。運転免許証がないと生きていけないというくらい、コンビニへ行くことですら苦勞している。また、いこまいかーの使い方が分からないという人も多いため、行政が上手に宣伝してほしい。

○西尾市老人クラブ連合会

- ・現在の家庭環境は核家族が多く、お年寄り子ども世代に頼れずにタクシーを呼ぶしかないという現状。佐久島はリピーターを増やすことが重要だと思う。

○西尾市民生委員児童委員協議会

- ・先日、西尾警察署交通課と一緒に運転免許証自主返納について地域を説明にまわった。高齢者の方も、実際に会って話すと分かりやすく納得しやすいので大変有り難かった。

○東幡豆小学校区代表町内会長

- ・幹線道路から離れた山奥に住んでいる人が多い。農作業用に軽トラを持っており運転しなければ生活できないという現状があるということも踏まえて公共交通を考えていく必要がある。

○一色西部小学校区代表町内会長

- ・一色地区は交通が不便な場所である。一色地区の公共交通協議会に属しているが、運行開始にあたってこれからいろいろな問題が出てくると思う。1便平均5人という利用目標についても、達成できるか不安があるが、とにかく多くの人に乗ってもらおうという決意を新たにして臨んでいきたい。

○西尾市生活学校

- ・行政にお願いするばかりでなく、どうしたら上手に公共交通に乗れるのか、自ら考えることが大切だと思う。

○西尾市地域振興部長

- ・各委員に貴重なご意見をいただき大変有り難い。これから超高齢化社会を迎えるにあたり、西尾市としても公共交通への期待はますます大きくなっている。一色地区の新規バス路線が10月運行開始できるよう引き続きご協力をお願いしたい。

○会長

- ・公共交通は住んでいる方、行政、運行する方、ご指導いただく方すべての協力がなければうまくいかないなので、これからも一丸となって協力していきたい。

4 その他

- ・机上配布の各種イベントチラシについての案内。
名鉄西尾・蒲郡線団体利用事業、親子利用事業の補助金制度
西尾の抹茶一服キャンペーン

5 閉会

以上